

名古屋市上下水道局環境計画2030

概要版

2024（令和6）年3月

第1編 環境活動推進編

環境活動目標の達成に向けた行動計画

計画の策定にあたって

▶ P.1

上下水道事業は水を通して地球環境と深く関わる一方で、水循環の中でさまざまなエネルギーを利用し、温室効果ガスを排出しています。そのため、上下水道局は、今後の地球環境において水が果たす役割を見据えながら、環境への負荷の少ない上下水道事業、環境を守る上下水道事業をめざしています。

計画期間 2024（令和6）年度～2030（令和12）年度

対象範囲 名古屋市上下水道局における事業全体

名古屋市上下水道局の環境施策

▶ P.6

上下水道局の環境施策を整理・体系化して、取り組みを進めます。

上下水道局の取り組み方針と施策の方向

方針1 参加・協働を促進します

- 環境情報の共有化
- 環境学習の推進
- お客さまとの連携

方針5 ごみの減量・廃棄物のリサイクルを推進します

- 発生抑制・リサイクルの推進
- 浄水発生土・下水汚泥焼却灰の有効利用

方針2 流域連携を推進します

- 木曾三川流域連携の推進
- 伊勢湾再生に向けた連携

方針6 健全な水循環の保全と再生を推進します

- 雨水流出抑制の推進
- 下水再生水の利用

方針3 安心・安全な水道水を供給します

- 水安全計画の運用
- 水質管理の充実

方針7 温室効果ガス排出量を削減します

- 設備更新等に併せて実施する対策の実施
- 維持管理の工夫による対策の実施
- 再生可能エネルギーの拡大による対策の実施
- 地域の温室効果ガス排出削減に貢献する対策の実施
- 行動面における対策の実施
- ヒートアイランド対策の推進

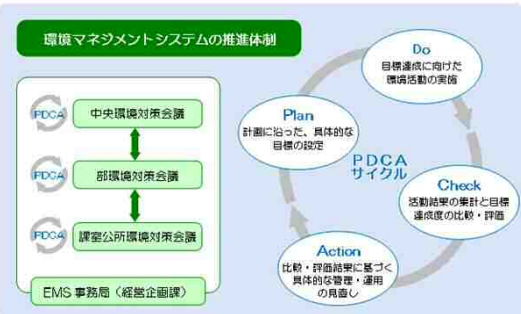
方針4 健康で安全な生活環境を確保します

- 水環境の向上
- 悪臭防止対策の実施
- 騒音・振動対策の推進
- 地盤沈下の防止

環境活動推進体制

▶ P.12

環境計画に基づく環境活動を推進するため、上下水道局環境マネジメントシステムを構築し、計画、点検、評価並びに見直しを図ることにより、継続的に改善し、積極的に取り組んでいきます。



環境項目	環境活動目標（長期目標）
非グリーン購入件数	できる限り削減
用紙類使用量	2030年度(令和12)に2016(平成28)年度比△5%
古紙資源化率	できる限り増加
廃棄物発生量	2030(令和12)年度に2013(平成25)年度比△16%
エネルギー使用量	2030(令和12)年度に2013(平成25)年度比△4%
温室効果ガス排出量	2030(令和12)年度に2013(平成25)年度比△40%

第2編 温室効果ガス排出削減編

温室効果ガス排出削減に取り組むための実行計画

背景

▶ P.1-6

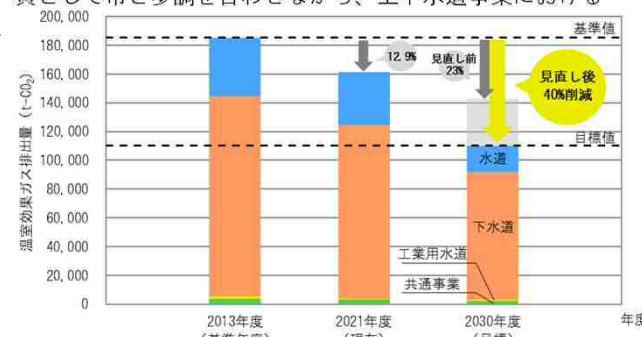
2050年カーボンニュートラル実現の理念を踏まえた国の地球温暖化対策計画の改定、名古屋市の削減目標値を含めた計画の改定など、地球温暖化対策をめぐる状況に大きな変化があったことから、上下水道局では上下水道事業における温室効果ガス排出削減の計画を改定します。

削減の概要

▶ P.2-1

上下水道局は「名古屋市地球温暖化対策実行計画2030」を踏まえた「名古屋市上下水道局環境計画2030」を策定し、市役所の一員として市と歩調を合わせながら、上下水道事業における温室効果ガス排出削減に取り組み、2030(令和12)年度に2013(平成25)年度比40%の削減に努めていきます。

また、脱炭素化の取り組みによって上下水道事業で使用する再生可能エネルギーの割合を増やすとともに、地域への再生可能エネルギーの供給を通じて、上下水道事業を含めた地域全体のGXの推進に貢献していきます。



主な温室効果ガスの削減対策

水道事業

- 自然流下範囲の拡大に向けた配水区域の見直し ▶P3-2
自然流下による送配水範囲を拡大するなど水運用の効率化を進め、電力使用量の削減を図ります。
- 推定末端圧制御の実施 ▶P3-4
配水管末端の圧力を予測し、配水流量に応じてポンプを制御することで電力使用量の削減を図ります。
- 太陽光発電設備の導入 ▶P3-5
新築改築に合わせた導入に加え、既存施設の上部などを利用して太陽光エネルギーのさらなる活用を図ります。
- 小水力発電設備の導入 ▶P3-5
木曾川からの高低差を利用できる鍋屋上野浄水場に設備を導入し、位置エネルギーのさらなる活用を図ります。

工業用水道事業

- ポンプ能力の適正化 ▶P5-1
水運用の状況や計画に応じてポンプ能力を適正化し、電力使用量の削減を図ります。

共通事業

- 施設の集約化 ▶P6-1
施設の集約化を進め、電力使用量等の削減を図ります。
- LED照明の採用 ▶P6-1
計画的にLED照明器具への更新を行い、電力使用量の削減を図ります。
- 電動車の導入 ▶P6-2
本市の方針に基づき、電気自動車等の電動車を導入し、自動車用燃料の削減を図ります。
- 電力、都市ガス使用量の削減 ▶P6-2
消灯や冷暖房温度設定の適正化、エコ・スタイル運動の推進など行動面での対策に取り組みます。
- 再生可能エネルギー電力の導入 ▶P6-3
再生可能エネルギー電力を購入することで、電力の使用に伴うCO₂をゼロにします。

下水道事業

- 汚泥焼却炉の整備 ▶P4-3
高温焼却が可能で、エネルギー効率に優れた処理施設を導入し、N₂O排出量と電力使用量等の削減を図ります。
- 間欠運転の実施 ▶P4-7
水処理に影響のない範囲で、設備の稼働と停止を繰り返す運転を行い、電力使用量の削減を図ります。
- 施設の集約化 ▶P4-6
施設の集約化を進め、電力使用量等の削減を図ります。
- 太陽光発電設備の導入 ▶P4-8
新築改築に合わせた導入に加え、既存施設の上部などを利用して太陽光エネルギーのさらなる活用を図ります。